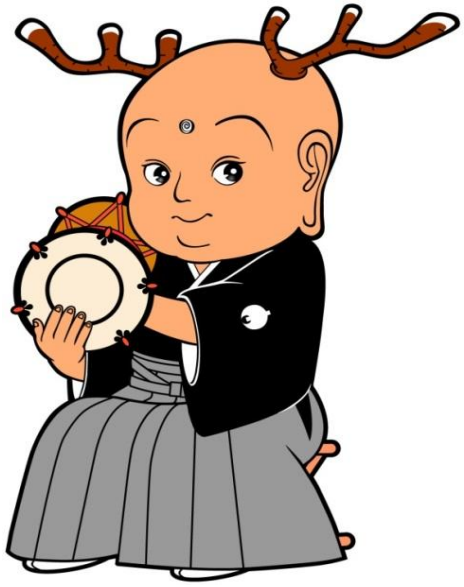
テーマ:「ふるさと創生の実現に向けて」

女性が活躍できる環境の改善

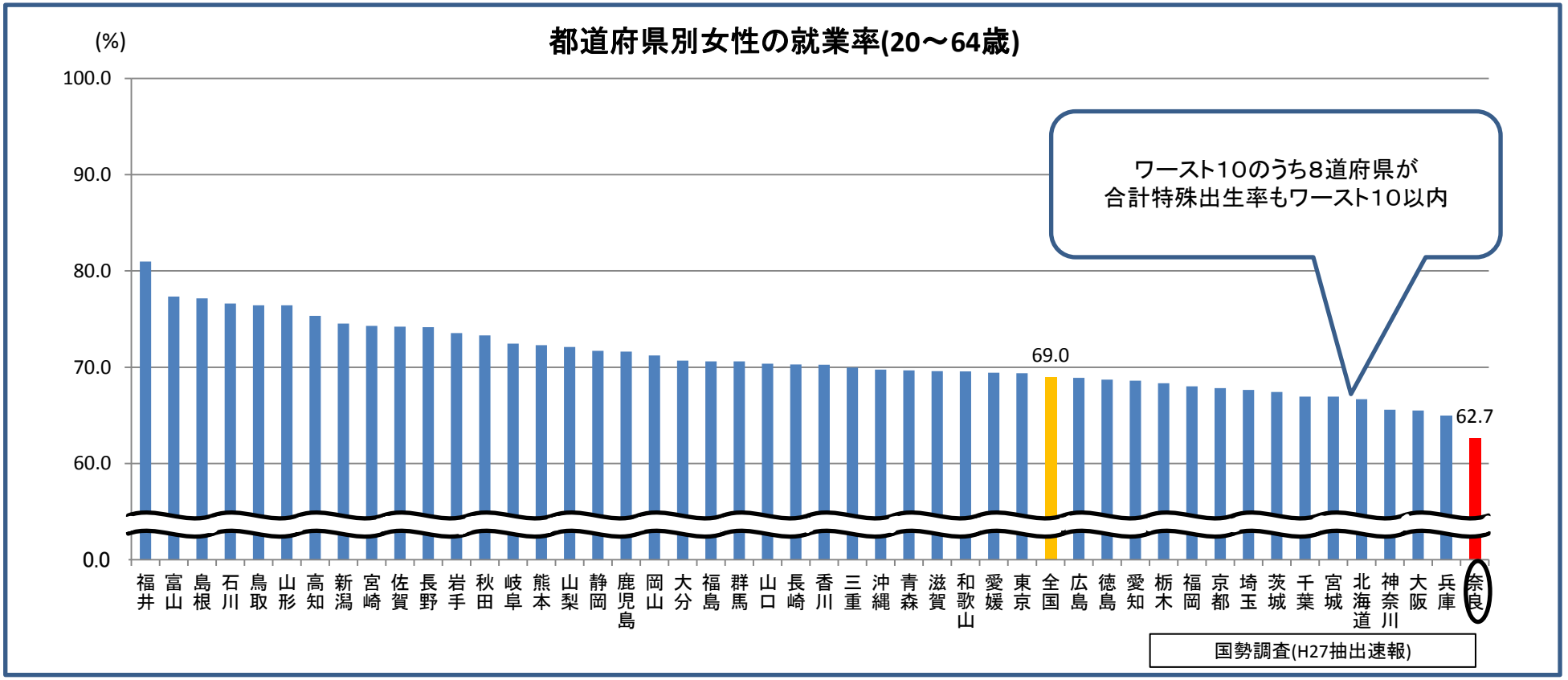


平成２８年８月３日

奈良県知事　荒井　正吾

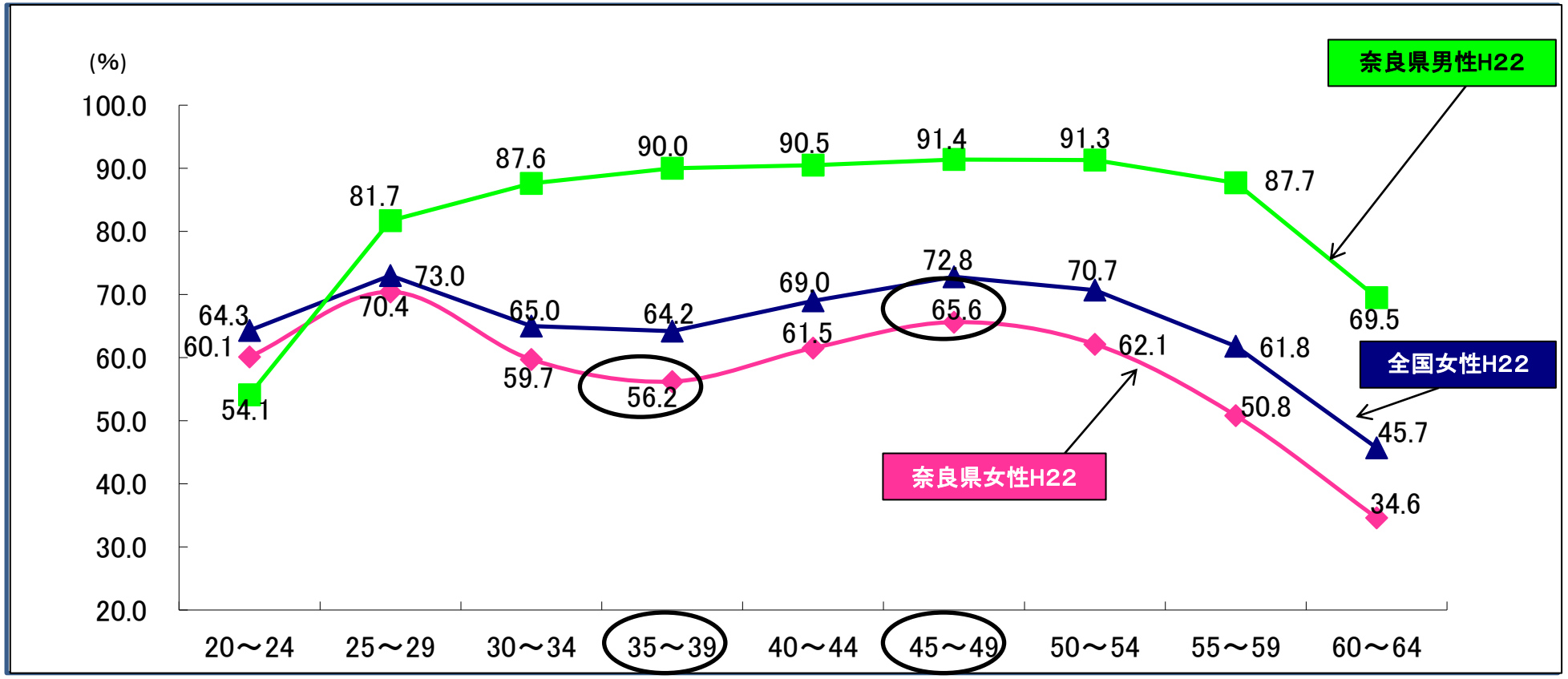
奈良県の現状

奈良県の女性の就業率は最下位



奈良県の現状

子育て期である、30歳代後半の落ち込みが大きく、40歳代後半の回復も不十分



H22　国勢調査(総務省)

女性の就業率が最下位の背景

「夫は働き、妻は家庭を守るべきである」(※)という固定的性別役割分担意識が強い

男性：全国46.5%　奈良県51.8%　　※賛成(どちらかといえば賛成含む)

女性：全国43.2%　奈良県48.2%

(H26女性の活躍推進に関する世論調査(内閣府)　H26女性の社会参加に関する意識調査(県女性支援課))

女性が望む「職住近接」「柔軟な働き方」等が実現されにくい

県内事業所数　全国40位　(H24経済センサス(総務省))

県外就業率　男性　全国1位　女性　全国2位　(H22国勢調査(総務省))

対策として

奈良県女性の輝き･活躍促進計画

2016（平成28）年３月　策定

＜基本理念＞
奈良県の女性が輝き活躍するために男女ともにライフステージの各段階で多様な選択肢の中から自らの道を選択できる社会を実現します

計画の期間は2016（平成28）年度から
2020（平成32）年度までの5年間

女性活躍推進のための「マインド改革」と活躍の「見える化」

ライフステージごとの課題

ライフステージごとに出現する課題について、次の4つの観点からとらえ、課題を解決するための方途を検討しました。

1　マインド	意識・考えを変えることで解決
2　フィールド	活躍の場を拡大することで解決
3　スキル	スキル・能力を高めることで解決
4　ライフ	女性の健康、生活環境等を改善することで解決

女性翻訳者の養成及び活躍支援

〇奈良県の女性が語学力を活かし、身近な場所での柔軟な働き方で活躍していただくため、翻訳者の養成に取り組んでいます。

＜翻訳者養成塾＞　H26年度～

①　通学･通信講座による日英翻訳演習
②　日本語文献の理解
③　翻訳者ロールモデルとの交流等

＜翻訳者養成塾前年度受講者フォローアップ＞　H27年度～

翻訳力強化や同じ志を持つ者同士のネットワークづくりを目指す

①　翻訳者として働くための相談会
②　県の文献等による体験翻訳

＜翻訳者の活躍支援＞　H28年度～

地元「奈良」の魅力をよく知る「奈良県の女性翻訳者」による英語版「奈良県観光情報誌」等の発行

・人文系文献翻訳の分野で能力発揮
・身近な場所での就労

翻訳者として起業

フリーランスとして就労

社内翻訳者や派遣として就職

日本の人文系文献等を英語に翻訳し情報発信

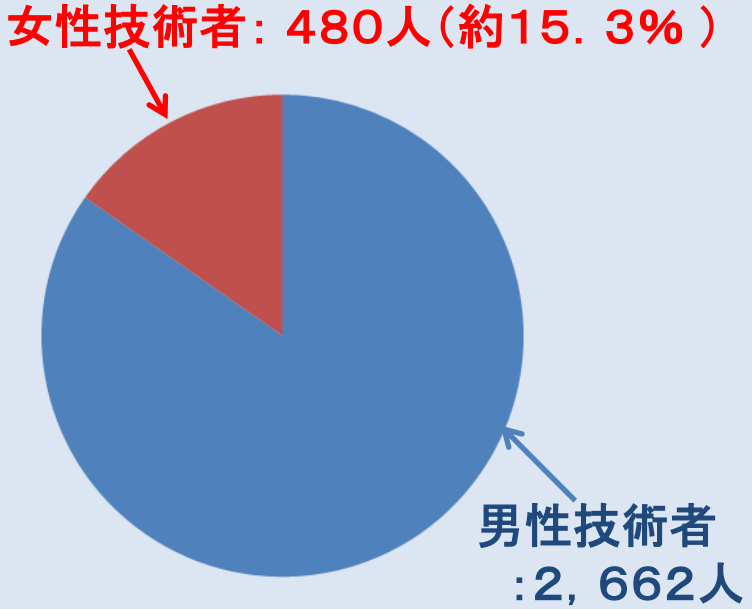
公共工事における女性技術者の活躍推進

○国では、女性の活躍を推進するため、その前提となるワーク・ライフ・バランスの実現等に向けて、公共調達及び補助金の分野において、企業のポジティブ・アクション等を推進することを目的に「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」を策定し、各省庁が、平成28年度中に、原則、取組を開始することとしている。

○奈良県の入札参加資格を持つ土木一式 A及びB等級企業の土木技術者のうち、約15．3%が女性技術者。

○これらの状況を踏まえて、奈良県においても、今後、女性技術者が活躍できる取組を進める必要がある。

土木一式A及びB等級企業の全土木技術者（3，142人）のうち女性技術者の占める割合
（平成28年3月末現在）



奈良県が発注する公共工事における新たな取組として、女性技術者の活躍の場の拡大に向け、今年度より、土木工事の総合評価方式において、女性技術者の配置を加点評価する「女性チャレンジ評価型」入札方式の試行を開始。

女性農業者の新規参入の促進

○　女性は、農業や地域の活性化において重要な役割を果たし、農業の担い手としても大きく期待されている。
　そのため、その能力が発揮され、農業経営や起業活動、地域活動へ一層の参画を推進。

★女性ならではの感性とたくましさで、農産加工品の開発など６次産業化にチャレンジ
「農業の起業を目指す女性の育成プログラム」

入門編　～ 女性のための週末農業起業セミナー ～

○　農業にチャレンジしたい若手女性を公募
・農作業体験
・先輩の体験談等を通じて、起業アイデアを構想

週末農業起業セミナーの様子

応用編　～ 農業起業塾 ～

いちご生産の現地視察

○　より将来を見据え、農業起業家を目指したい女性のための経営マネジメント研修

・6次産業化の取り組み生産現場など現地視察
・農産加工品の開発
・営業販売戦略

実践編　実践的サポート

○　県内の先進農家で実践的な長期研修をサポート

・6次産業化実践農家
・大和野菜生産農家

農業で起業へ

【事例】
大和野菜やイタリア料理用の野菜を栽培し、レストラン等へ販売

食と農の女子ネットワークの構築

○ 次世代の農業を牽引する女性農業者を育成するため、食と農に関わる人材のネットワークを構築

- 女性農業者が経営の主力として活躍できるように、技術・経営力向上ゼミナールや意見交換会を開催。
- 女性経営者相互や異業種・民間企業等との交流・情報交換の場を設置し、若手女性農業者組織を育成。
- 和母（わはは）など女性農業者のネットワーク活動を支援

女性農業者による
新たな農業ビジネスの展開

・地域資源を活用し、女性の得意分野である農産加工品を開発
・農村資源を活用した農家レストランやオーベルジュなどの運営

農家レストラン

【なら起業家ネットワーク　「和母（わはは）】

○ 県内各地の女性農業起業者（茶・野菜・果樹・そば・畜産etc）により平成24年に設立。現在、会員数は、8名。
○ 女性がもてなす新たなグリーンツーリズムの構築のため、加工体験を盛り込んだモニターツアーを開催。
○ 女性起業者のこだわり食材をPRするイベントを開催

お茶摘み体験

レストランでの県産農作物メニュー提案イベント